

平成28年10月3日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼CEO 此下 竜矢
(コード2388 東証 J A S D A Q 市場)
問合せ先 開示担当 小竹 康博
(TEL 03-6225-2207)

GL スリランカ ファイナンス企業の株式29.99%を取得、 年間 7百万米ドルの利益上積みを期待

当社の重要な子会社でありますSET(タイ証券取引所)上場のDigital Finance会社Group Lease PCL(以下GL)は、将来収益に大きな影響を与える布石として、巨大かつ大きな収益可能性のあるスリランカ民主社会主義共和国(以下、スリランカ)の有力ファイナンスグループ Commercial Credit & Finance Plc (CCF)との提携により進めることを公表いたしました。GL社は本日プレスリリースを公表いたしましたので、その内容を日本語にてご紹介いたします。

(以下、GL社公表のプレスリリースの翻訳)

2016年10月3日

件名: **GL スリランカ ファイナンス企業の株式29.99%を取得、年間7百万米ドルの利益上積みを期待**

タイ証券取引所 (SET) 上場企業で “Digital Finance” 事業を展開する Group Lease Public Company Limited (GL)は、アセアン域内における相次ぐ積極的な事業拡大に続き、スリランカ民主社会主義共和国 (スリランカ) の有力かつ高収益なマイクロファイナンス企業 (コロンボ証券取引所上場及びスリランカ中央銀行登録金融機関) の株式を取得することによりアセアン域外での事業拡大を進める。

GLの会長兼CEOである此下益司氏によると、GLが Commercial Credit & Finance Plc (CCF) 社の株式29.99%を取得することにより両社間のパートナーシップはより強固なものになる。GLの効果的なビジネスモデル “Digital Finance Platform” にCCF社のファイナンス成功モデルを結びつけることにより既存市場だけでなく今後進出する全ての市場で我々の事業を拡大することができる。本契約締結により2016年(本年度)第4四半期より年間およそ7百万米ドルの連結利益がGLにもたらされると言う。更に此下益司氏は以下のように加える。本契約の特別条項として、GLHに対してCCF社株式

の優先先買権が付与されている。これにより既存大株主が売却を行う際には優先的に当該株式を取得する権利を得ており、今後 GLH が CCF 社の残りの株式 70%を追加取得する可能性も検討していくと言う。

本件は GL にとって初めてのアセアン域外での大規模な事業拡大であり、取得金額は約 70 百万 US ドルに上る。GL はタイ王国を本拠地とし、これまでカンボジア、ラオス、インドネシア、そして直近ミャンマーへの事業拡大に成功してきた。

CCF の株式取得に合わせ、GL はシンガポールの 100%子会社 GL Holdings (GLH) を通じて、ミャンマーにある CCF の 100%子会社でマイクロファイナンス事業を手掛ける BG Microfinance Myanmar Co Ltd (BGMM) の全株式を取得する。GLH は 9 月初旬に BGMM 社の株式 71.9%を取得しており、これから残りの株式 28.1%を取得し完全子会社化を行う。

2016 年 10 月 3 日にタイ バンコク市内にて、両案件の株式売買契約調印式が行われた。此下益司氏は次のように述べた。今回の CCF 社の株式取得は、GL グループの収益にすぐに非常に大きい有益な影響を与えるだろう、なぜなら CCF 社からの持分利益が今年度第 4 四半期から GL の財務諸表に取り込まれるからだ。

CCF 社の資産規模は、およそ 500 百万 US ドルで、GL の資産規模およそ 450 百万 US ドルよりも大きい。しかし、タイの証券市場に比べスリランカの証券市場は、発展途上で安定性及び注目度で劣っている要因もあり、時価総額では GL のほうがはるかに CCF 社のそれよりも大きい。今年度、CCF 社は純利益 22 百万 US ドルを見込んでいる。

此下益司氏は CCF 社に関して次のように述べた。GL は、CCF 社の取締役会にある程度参画をするが、現在の経営陣の裁量で引き続き運営を任せていく、なぜなら現在の経営陣は非常に有能であるからだ。CCF 社は現在の完璧な経営陣によって成熟した企業だ。我々は、e ペイメント、e コマースや保険といった補完的なビジネスを紹介することで同社をサポートしていく。

2016 年 10 月 3 日に締結された株式売買契約は、両国間での関連当局の許可、臨時株主総会 (EGM) の承認、独立系ファイナンシャルアドバイザー (IFA) のレポートを経てすぐに有効となる。

此下益司氏は、以下のように加えた。GL と CCF の関係はお互いにシナジーを与える “Win -Win の戦略的パートナーシップ” である。我々の “Digital Finance Platform” は CCF 社のファイナンスにおける知識やノウハウを更に向上させる、また同社の資金調達のニーズに関しては、国際的に資金調達ができる我々の強みが活かされる。

先述の通り、今回の株式売買契約における特別条件として、GLH に対して優先先買権を付与するようになっており、今後 GL が CCF 社の株式を追加購入する可能性を示している。

此下益司氏は以下のように強調する。CCF 社との今回の提携は今後の GL の売上及び利益に非常に大きい有益な影響を与える。なぜならマイクロファイナンスの中心地であるスリランカやバングラデシュで、CCF 社が開発・発展させてきた成功モデル ” Group finance “は、GL が現在事業展開するアセアン市場やその他市場においても、消費者ファイナンス及びリースの更なる拡大を生むことができる有益なモデルである。

調印式の模様を写真で紹介いたします。



以上